

令和元年 9 月 25 日 (水)

RDUF 小委員会 ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク
(Japan Data Repository Network : JDARN)
活動報告

研究データ利活用協議会(RDUF)
ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク
(Japan Data Repository Network : JDARN)小委員会

1. 活動の目的

研究データを安定的に公開するためには信頼できるデータリポジトリであることが重要です。国内にあるデータリポジトリの信頼性を国際的に期待されている水準にすることが求められています。分野リポジトリが論文に付随したデータの公開を求められる場合も増加しています。研究データを公開している分野リポジトリへの要求も多様化しており、対応すべき課題が発生しています。本小委員会において関係者の関心のあるトピックのいくつかについて議論する場を提供し、分野リポジトリ関係者の人的ネットワークを作ることを目的としました。

2. 活動状況

平成 30 年 10 月～令和元年 9 月に 12 回小委員会を開催し、その他外部発表を行いました。活動詳細は別紙 1 の通りです。

3. 主な成果・外部発表

(1) 主な成果

本小委員会の活動開始当初（平成 29 年 10 月）から分野リポジトリの信頼性を高める方法の一つとして、信頼性認証の国際的な枠組み Core Trust Seal(CTS 認証)の要件の理解のための調査と学習を進めています。

「国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築」小委員会（平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月）では、その結果、CTS 認証で要求される事項をアイテム毎に整理した「CTS 要求事項とアイテム」（参考資料）を作成しました。

平成 30 年 10 月以後、ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク (Japan Data Repository Network : JDARN)となり、さらに検討を続

けて、研究データの一般的な運営体制を「研究データリポジトリ運営体制表」(別紙2)にまとめ、さらに、運営体制表で整理した役割に応じて必要となるドキュメントやとるべきアクションを「リポジトリにおける役割・ドキュメント・アクション」(別紙3)にまとめました。リポジトリ関係者がこのまとめを参照することにより、リポジトリの向上を図ることができることを目指しました。さらに、これらを基に「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン案」(別紙4)を作成しました。本ガイドライン案は、内閣府『国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会』メンバー、事務局およびJDARNメンバーによる合同ミニワークショップ(平成30年12月17日(月)開催)、その後の検討を経て、同検討会事務局に提出され、これに基づいたガイドラインが内閣府から公開されました。

[研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン \(PDF形式: 893KB\)](#) 

なお、今後は上記ガイドラインで不足している内容や解説をまとめ、「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン作成におけるJDARNの議論と検討(仮)」として令和2年3月末を目処に公開する予定です。

(2)外部発表

- 内閣府『国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会』第7回(平成30年10月26日開催)
 1. 「データリポジトリの整備・運用について」報告
<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/7kai/siryo1.pdf>

- RDUF 公開シンポジウム ～研究データ利活用のさらなる促進のために～(平成31年2月18日開催)
 1. 小委員会活動報告3
ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク (JDARN)
https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/190218_rduf_jdarn01.pdf
https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/190218_rduf_jdarn02.pdf
<https://www.youtube.com/watch?v=IPt6pRPSpec>
<https://www.youtube.com/watch?v=K5RAo1OWEoE>

- JOSS2019(令和元年5月27、28日開催)
セッション G6 Japan Data Repository Network (JDARN): データ

リポジトリ の諸問題と未来像

Japan Data Repository Network (JDARN): Various Issues and Future Prospects of Data Repositories

発表資料

1. JDARN とは？

1. 北本 朝展 (ROIS-DS-CODH / 国立情報学研究所) 「JDARN 紹介」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_1-1.pdf

2. 山田 一作 (公益財団法人 野口研究所) 「JDARN に参加するメリット」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_1-2.pdf

2. 「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン」の概要

1. 林 和弘 (科学技術・学術政策研究所 (NISTEP)) 「ガイドラインの背景と目的」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_2-1.pdf

2. 八塚 茂 (バイオサイエンスデータベースセンター) 「信頼性」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_2-2.pdf

3. 加藤 斉史 (科学技術振興機構) 「運営体制」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_2-3.pdf

4. 福田 和代 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構) 「情報基盤」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_2-4.pdf

5. 尾鷲 瑞穂 (国立研究開発法人 国立環境研究所) 「人材基盤」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_2-5.pdf

3. データマネジメントとデータ流通

1. 絹谷 弘子 ((有) マーチャント) 「データリポジトリにおけるデータ管理」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_3-1.pdf

2. 林 幹高 (DAMA 日本支部) 「データマネジメント知識体系と国際標準」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_3-2.pdf

3. 上島 邦彦 (データ流通推進協議会) 「データ流通に求められる人材育成・組織開発」

https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_jdarn_3-3.pdf

● JOSS2019

セッション C3 研究データマネジメント人材の育成を展望する

Prospects for RDM human resources development in the future

6. 尾鷲 瑞穂 (国立環境研究所) 「研究データリポジトリ整備・運用ガイドラインにおける人的基盤の要求要件～JDARN における議論過程とウラ話」

<https://www.slideshare.net/MizuhoOWASHI/jdarn>

- JpGU2019 (令和元年 5 月 26 日)

M-GI31 セッション Open Science in Action: Research Data Sharing, Infrastructure, Transparency, and International Cooperation

1. MGI32-02 Japan Data Repository Network (JDARN) : データリポジトリの信頼性向上を中心としたコミュニティ活動

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2019/subject/MGI31-02/class?cryptoId=>

以上